

鍼灸の先生方へ

ご協力のお願いと謝礼サービス

http://nico2.info/ami_project/
川崎市多摩区菅北浦 2-6-8-106
経絡測定研究会 神谷 博之
mhc02430@nifty.com
TEL 044-281-5175

経絡測定装置の研究をしています。

一昔前注目された良導絡測定装置(ノイロメーター)は「経絡測定」装置ではなかったことが判明しています。

しかしその後、開発された経絡臓器機能測定装置(AMI)は研究者の間で本物の「経絡測定」装置として評価されています。

ところが、AMI 装置は価格が高価だったため民間の鍼灸院まで普及せず、いま忘れられようとしています。私はそれが残念で、数年かけて安価な経絡測定装置を開発しました。奇遇にも私の本業はパソコンプログラマーであり、電子回路が趣味で、そして鍼灸師資格を持ってました。開発した装置は、「A-BI」または「E-BI」簡易経絡測定装置と名付けています。

患者さんの測定実験にご協力いただけませんか。

いま、私が開発した測定装置が信頼に値するものかどうか、不特定の多数の被験者で測定実験しているところですが、実際の鍼灸治療現場の患者さんに対して測定を行う機会が私にはありません。そこで、鍼灸の先生方へお願いです。測定装置一式お貸しし謝礼サービス致しますので、患者さんの経絡測定にご協力いただけないでしょうか。治療院が当方のお近くでしたら、私自信が出向いて患者さんの測定作業をいたします。

経絡測定装置(パソコン・機器セット)を無料貸し出し致します。

パソコンには、経絡測定ソフトのほか、鍼灸治療に役立つソフト類も入っています。貸出先は、当会所在地近辺在住の先生を優先させていただきます。

測定データを買取ります。

患者さんの病気や症状の情報と治療前後の測定データを1回2,000円で買取ります。この代金は、別紙「経絡測定研究会による治療体験キャンペーン」のように、患者さん向けに、料金援助として利用されてはいかがでしょうか。

A-BI/E-BI 簡易経絡測定装置について

端的に言えば「診断に困ったとき特に役に立つ測定装置」です。一見健康人、患者さんの愁訴が漠然としている、圧痛も反応点もない、こんなとき困りませんか。

詳細解説

→ [経絡測定研究会](http://nico2.info/ami_project/) (http://nico2.info/ami_project/)

(この Web ページの「鍼灸の先生方へ ご協力のお願いと謝礼サービス」をクリックすると、本文書が表示されるので、リンク先に直接ジャンプできるようになります。)

とくにチェックしていただきたい事項

患者さんに視覚的に説明できます。

→ [基本チャート](http://nico2.info/ami_project/page01/chart2017/kihon_chart.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/chart2017/kihon_chart.html)

→ [履歴チャート](http://nico2.info/ami_project/page01/chart2017/rireki.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/chart2017/rireki.html)

患者さんの愁訴が測定結果に反映されるので、患者さんに信頼されます。

→ [例](http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/shogo31.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/shogo31.html)

測定結果と先生の経験とが一致すれば、診断に自信が持てます。

初心者先生は要穴虚実反映図で触診箇所がわかります。

→ [要穴虚実反映図](http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/han31.jpg) (http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/han31.jpg)

治療穴が多数ある場合、測定結果により経脈単位で治療穴を選定できます。

→ [「かぜ」の例](http://nico2.info/ami_project/page00/ketu_guide/ketu_guide2.html) (http://nico2.info/ami_project/page00/ketu_guide/ketu_guide2.html)

※この機能を利用するためには、治療穴データを予め登録しておく必要がありますが、貸出パソコンは、(株)エヌ・ティー・エス社発行「ツボ単」の治療穴データ登録済みです。

施術後、患者さんの愁訴が好転せず、経絡の虚実パターンも変化がないときでも、経絡は活性方向に変化しているのが分かります。

→ [BP・IQ 測定値散布図](http://nico2.info/ami_project/page01/user_report/003/tm.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/user_report/003/tm.html)

AMI について

文献書籍類が豊富です。

→ [参考文献](http://nico2.info/ami_project/page01/ami-info/bunken.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/ami-info/bunken.html)

当会の研究事例

測定事例:被検者は一般人ですが愁訴と「変調経絡と起こりやすい症状」との一致点が多く見られる。

→ [例 1](http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/) (http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/)

→ [例 2](http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/shogo31.html) (http://nico2.info/ami_project/page01/sokutei-jirei/shogo31.html)

A-BI 経絡測定装置ご利用の S 鍼灸院から戴いたデータを分析しました。

→ http://nico2.info/ami_project/page01/user_report/002/23.html

E-BI 経絡測定装置をご利用のサプリメント販売会社から戴いた測定事例です。

→ http://nico2.info/ami_project/page01/user_report/001/ht.html

自作ソフトを公開しています。

鍼灸の勉強に役立つと思います。

→ http://nico2.info/ami_project/freesoft/index.html

本家 AMI 装置メーカー(有限会社アミカ)のサイト

→ 装置名は「真皮間質液測定装置」に改名されています。(<http://www.ami-ca.com/industry/>)

→ [経絡の虚実 気の測定](http://www.ami-ca.com/keiraku/)(<http://www.ami-ca.com/keiraku/>)